

1. 研究の概要図

この応募用紙に記載する研究の概要を以下の枠内に図式を用いて、概要図を作成してください。

研究課題名	ハイブリッド事業体の損失控除における課税問題
-------	------------------------

グローバル経済の昨今、多国籍企業が国際取引を行う際に、
各国の税制の違いを利用した**租税回避行為**が世界的に行われている。

セーフ ← 租税回避 → アウト

節税 グレー 脱税

違法ではないが、法の抜け穴を突く不当な行為

近年生じた裁判（IBM 事件）においても、
租税回避行為が行われ、問題となっている

IBM 事件 関係図

米国
米国 IBM
X 社
日本 IBM
日本

米国連結納税
日本連結納税

ハイブリッド事業体 X（国によって法的扱いが異なる事業体）が、日本とアメリカのそれぞれの納税グループに取り込まれる

↓ その結果

ハイブリッド事業体 X に生じた損失が日本とアメリカの両方の国で利用され、租税回避行為が可能になる

しかし 日本の税制はハイブリッド事業体から生じる
租税回避スキームに対応できていない

OECD の議論等を参考に望ましい対応策を検討

参照：OECD, Neutralising the Effects of Hybrid Mismatch Arrangements, Action 2 2015 Final Report (2015)